

平成30年度 自己評価結果公表シート

社会福祉法人 たつみ会
認定こども園 聖ヶ丘保育園 こども未来学舎

1. 本園の教育・保育目標

- ・清く正しく明るく強くを教育・保育スローガンに豊かな感性・たくましい心と体づくりをすすめます。
- ・保幼小中一貫教育に鑑み、認定こども園の教育・保育で育む資質・能力を小学校につないでいきます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自然体験やエコ活動を通じて、思考力、判断力、表現力を育み学びに向かう力をつけることをめざす。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況と評価	評価
・自然体験やエコ活動を年間カリキュラムに取り入れ、計画的に推進する	・5歳児を主体に4歳児にも活動に参加できるよう、公益財団法人日本環境協会のこどもエコクラブ活動を通じて年間の活動を行うようカリキュラムに取り入れた。具体的には野菜栽培の観察、雨水を利用した水やり、収穫体験。また、玉ねぎの皮を使ったバンダナの染色体験。公園でのせみの抜け殻集めと観察、肥料作り。うめジュース、お味噌の仕込み体験など。	B
・子どもの資質・能力を育むために子どもが主体的に取り組める活動にする	・子どもが、気づく分かる、考える工夫する、意欲をもつ というステップをふみながら活動することを目標としたが、準備不足や時間不足などで必ずしも目標どりの活動ができないこともあった。しかし、子どもをグループで活動させることで協同性が芽生え、最初は興味を持たない子どもも意欲を示すようになっていった。	C
・子どもの活動の様子や成果を保護者にも分かるように工夫をする	・クラスだよりや日々のタブレット端末による画像広報また個別にはポートフォリオに掲載するなどを行った。また作品展において年間の活動の成果をこどもエコ新聞や活動の過程がわかるドキュメンテーションを展示して理解を深めてもらった。	A

4. 今後取り組むべき課題

- ・年度の始めに十分に計画を立て、他のクラスや栄養士・看護師など他の職種にも連携して活動を進めることで準備不足や時間不足にならないように工夫する。
- ・個々の子どもやグループでの成長の様子をドキュメンテーションに残すことで、他のクラスの職員にも分かり易く、園全体に展開できる活動にしていく。

※評価 A:十分達成された B:達成された C:取り組まれているが成果が十分でない D:取り組みが不十分